

# 享栄高等学校

めく  
かんきょう  
きぼう  
しんろ  
めざ  
恵まれた環境で希望の進路を目指す



享栄高等学校  
尾俣 治義先生



享栄高等学校  
山田 秀和先生

愛知県名古屋市の学校法人享栄学園享栄高等学校をお訪ねし、情報メディアコース三年生の授業を見学しました。

また、同校の尾俣治義先生と、授業を担当された山田秀和先生にお話をうかがいました。

驚くほど恵まれた環境

コンピュータ室(一、二、三、四)に各四十台、グローバル室に二十台、CAD(キヤド)室に四十五台、FA(エフエー)室に二十台、CAM(キヤム)室に二十台、登録されている先生用五十二台、情報センタ室・サーバ室の五十台も含めると、なんと合計三百台を超えるウィンドウズがあり、さまざま

なソフトも豊富にそろっているという、大変恵まれた環境です。

すべての教室のコンピュータは、光ケーブルでつながっており、尾俣先生が管理される二部屋に集約されています。

「ITコースでは一人一台のノートパソコンを用意して、無線LAN(ラン)でインターネットも利用できる。日本史の授業などインターネットを使った調べ学習などもおこなっています」(尾俣先生)

### 今日の授業

この日の授業では、生徒たちが課題を終えてしまったので、卒業記念のカレンダーを作り上げます。

市販のカレンダー制作用のソフトを使い、自分たちの好きな物を作り、プリントして最後にラミネート加工をするまでを二時間目(二時間目)。

### 三年間の学習内容

「難関大学合格を目標と

している、普通科の特進英語コースと、栄進コースでは、英会話のレッスンルームでインターネットを使って英語の生の発声や、ほとんどの生徒が英語検定準二級を取得しています。

わたしたちの学校では、一年生は全員「情報A」を学び、ワード、エクセル、パワーポイントを確認に使えるよう指導します。

二年生からは生徒の希望により、普通科の文系コース、理系コース、商業科の情報メディアコース、情報デザインコース、情報ビジネスコース、機械科のマイスターコース、IT(アイティ)コースに分かれ、普通科以外は、それぞれの科の特徴を生かした情報教育をおこないます。

もちろん、三年生になっても引き続き、さらに上の級の取得を目指して学習します。

### コース別の学習内容例

「商業科は、ワードとエクセルを継続して学び、ワー



▲カレンダー制作をする享栄高等学校情報メディアコース三年生の生徒さんと山田先生(左奥はラミネート加工をしている生徒さん)

プロ検定級、エクセルブックセスの情報技能検定級合格を目指します。

情報メディアコースでは、W(ダブル)スクール制度を取り入れ、週に二回コンピュータ専門学校へ行き、高いレベルの専門的な授業を受けます。

二期は、フォトショップを中心に学びます。

同時に、初級システムアドミニストレータ、CG検定、マルチメディア検定などの資格取得を目指します。

情報デザインコースでは、CG(コンピュータグラフィック)ソフトを使い、情報処理やデザイン業界で役立つコンピュータの知識と技術を学習し、情報処理検定などの資格取得を目指します。

情報ビジネスコースでは英語実務に力を入れ、各種資格取得はもちろんのこと、即戦力となる人材の育成を目指します。

機械科では、専門知識をもとに電化製品などの

図面をかき、コンピュータでデザイン設計をします。

この時使うCAD(キヤド)は、就職する時に即戦力となるように、という目的から地元で企業が実際に使用しているものと同じものにするなど、コンピュータの環境も、科やコースに合わせて工夫されています」(尾俣先生)

### 気をつけていること

「ソフトの不正なコピーな

どの著作権侵害についてのことと、肖像権や知的所有権というものがあるから注意が必要だよ、という話は生徒によくします」(尾俣先生)

「コンピュータ室から、教師は生徒の使用している画像などを見ることができませんが、最低限のマナーを守るこの大切さを教えた上で、なるべく規制をかけずに自由に制作できるように心がけています」(山田先生)

▲二つのモニターを見ながら自分だけの作品を作り上げる生徒さん